なり其年十五才となりて初て小野小町の妻となりて
男子人をもうけ四代仁明天皇の時分羽の郡司小野良
實近江國を小野といふ所より出国する事なれば門
の誘ひ侍りて其後小野中川通細谷村へ所替を是小
野小町が父なり小町八つの年三人となりて父良實都へ
登りし後継母之を憎み池へ蓮の種を蒔けと
命じ侍りて紅蓮の花咲沙人を池へ蒔て
数年を近年は池塚いくば迄埋うしけと
いふ則小野氏の末孫屋敷の西に池有りと云ふ女
が是なり小野の苔物語に羽黒の方堂に霊物
出現の御国小野良實細谷に住とあり此の附きて
を刀之主戸の中に之あるいて小町が塚川北荒
瀬御の内観音寺村の下屋敷の東に小野小町の墓有
五間四方程の塚にて松二三本生ずけり小町が
近墓の塚にて小町八十歳にて果て
けるに記録に云ふ所の如の前八小町の美
形の姿ありしかども之年浮き色なる花にて錦國
へ帰えざりき然るに近陸奥河原田某と云縣